療法名 **CPT−11**

適応 胃癌

抗癌剤適応分類 進行･再発癌

第2版	2018年8月
登録番号	胃−11
登録年月日	2013年1月

投与順	抗癌剤名（一般名）	【略語】	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	**イリノテカン®** イリノテカン塩酸塩水和物	CPT−11	150mg/㎡	点滴静注	90分	d1

		day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14															
	CPT−11	150mg/㎡	↓																												

1コース期間 （次のコースまでの標準期間）	2週
総コース数	PDまで
コース間での休薬規定	なし

減量規定・中止基準	チェックリスト参照
投与量の増量規定	なし
投与間隔の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	単剤のためなし
プレメディケーション	投与当日デキメタゾン注9.9mg、5−HT3拮抗薬1A点滴静注
ポストメディケーション	なし

主な副作用とその対策	チェックリスト参照
患者条件	チェックリスト参照
除外規定	チェックリスト参照
実施上の注意点	①下痢は投与後24時間以内に出現する早発型と約5日で起こる遅発型に分けられる
	②下痢出現時にロペラミド塩酸塩を内服できるようにあらかじめ処方しておく

備考	主に二次治療以降で用いられる
治療成績	国内後期第Ⅱ相試験で18.4%の奏効率(7/38) WJOG4007(二次治療検討の試験)にてwPTXに対するOSにおける優越性は証明されていない
その他	レジメン開始前に重篤な副作用回避のためUGT1A1の遺伝多型検査を行う

参考文献 南江堂 リスク別 がん化学療法レジメン 改訂第2版
羊土社 がん化学療法副作用対策ハンドブック 第3版